

# なますて

※「なますて」とは… インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。  
我々の称える「南無」の語源とも言われています。



## 心のエネルギー

暑中お見舞い申し上げます！

今年の夏は例年にない猛暑ですが、皆様元気にお過ごしでしょうか？

昔はこんなに35℃を越える猛暑日なんてめったになかったような気がします。やはり地球の温暖化は進んでいるのでしょうか…。鉄砲雨や竜巻、台風が多発化など、日本の気候が亜熱帯化しているということも不安ですね。

このように暑いとエアコンや扇風機もフル回転、電気料金も心配になります。そこでキーワードは『省エネ』。原発は反対だけど、電気料金の高騰は困る…というのが大方の声でしょうか。再生可能エネルギーにも限界はあるでしょう。となるとやはり皆さんの「省エネ」＝「我慢」も求められることになります。とはいえ、我慢しすぎて熱中症になっては元も子もなくなります。難しいところですね。十分お気を付け下さい！

エネルギーといえば、人間には身体的エネルギーだけでなく、心のエネルギーもあるといえます。人と会っても挨拶もしない、笑顔も見せない… unnecessaryなことには極力エネルギーを使わない…省エネ型の人も多くなっているような気がします。心のエネルギーまで『省エネ』してしまうと、なんか人間関係がギスギスしてしまいますね。

心理学者の故河合隼雄氏によれば、人間の心のエネルギーは、多くの「鉦脈」の中に埋もれていて、新しい鉦脈を掘り当てると、新たに異なるエネルギーが供給される…。だから出し惜しみばかりしているよりも、どんどん使って新たな鉦脈を掘り当てることも大切。心のエネルギーは節約しようとするよりも、上手に流してゆこうとする方が効率も良い…とのことです。

どうですか？「省エネ」も大切ですが、使えば使うほど湧いてくる心のエネルギーの新たな鉦脈を掘り当ててみたいものですね

まだまだ残暑厳しい夏になりそうですが、家族そろってご先祖様をお迎えし、「おもてなし」＝「心のエネルギー」を使って、気持ちよく、皆で楽しいお盆をお過ごしください。

住職合掌

\* 参照 河合隼雄著「こころの処方箋」新潮文庫

## 豊沢光林寺公園清掃奉仕 報告

毎年、皆様にご協力をお願いして行っております「豊沢光林寺公園清掃奉仕」を去る6月27日に行いました。今年の開山忌塔前地区である八幡・中寺林地区の皆様にご協力いただきました。当日は、時折強い雨の降る生憎の天候でしたが事故もなく無事に作業をすることが出来ました。参加して下さった皆様には、篤く御礼申し上げます。

似内裕 総代組・八重樫利夫 総代組・佐々木栄一 総代組

河嶋脩 総代組・長澤久一 総代組

総勢26名 参加

# 第53回光林寺寄席

毎年、恒例の『光林寺寄席』が6月13日(土)に開催されました。今回お呼びしたのは、『柳家さん喬』師匠です。光林寺寄席には何度もお出演いただいております。気になって調べてみたところ、何と今回で11回目の出演であったことが分かりました。初登場が第四回(昭和59年、1984年)ですから、かれこれ30年以上のお付き合いです。当時、若手の注目株であった師匠も今では落語協会理事をお勤めになるなど重鎮としてご活躍中です。

今回の高座は、皆さんご存じの『ちりとてちん』、名人物の代表格『抜け雀』、誇り高き武士の生きざまを描いた人情噺の傑作『柳田格之進』の三席でした。どの話も素晴らしくすっかり引き込まれます。特に『柳田格之進』は感動しました。是非、機会があったらご覧いただきたいです。

また、今回も裏千家高橋宗章社中の皆さんに、お茶席のご協力をいただきました。ありがとうございました。



## 柳家さん喬師匠

### 芸歴

- 昭和42年 3月 中央大学付属高校卒業
- 昭和42年 4月 五代目柳家小さん入門  
前座名「小稲」
- 昭和47年11月 ニツ目昇進  
「柳家さん喬」と改名
- 昭和55年10月 真打試験合格
- 昭和56年 3月 真打昇進
- 平成13年10月 理事付役員に就任
- 平成18年 6月 落語協会常任理事に就任

### 受賞歴

- 昭和59年 国立演芸場金賞受賞
- 昭和61年 文化庁芸術祭受賞 若手花形にて
- 昭和62年 選抜若手演芸大賞真打部門大賞受賞
- 平成 6年 第11回浅草演芸大賞新人賞受賞
- 平成25年 平成24年度(第63回)芸術選奨  
文部科学大臣賞受賞(大衆芸能部門)
- 平成26年 第42回 国際交流基金賞受賞



入船亭扇橋師匠

去る、7月10日、九代目入船亭扇橋師匠が84才でお亡くなりになりました。扇橋師匠は光林寺寄席が始まった当初からお越いただき、特に最初の10回のうち8回にご出演いただきました。震災直後の2011年6月にチャリティー寄席にご出演いただいたのが最後となってしまいました。光林寺寄席13回出演は勿論最多です。多くの落語家さんをご紹介いただき、光林寺寄席の恩人のお一人と言えます。落語以外にも俳句の宗匠としてもご活躍なさいました。ご冥福をお祈り致します。

合掌

# 第33回光林寺てらこや合宿

今年も恒例のてらこや合宿が8月1～2日に行われました。

今年は41名の小学生が集い『写仏』や『ロングのり巻き作り』に挑戦しました。

『写仏』は、てらこや合宿初登場。手本をなぞるもよし、写すもよし、塗り絵でもよしと自由度が高いのが特徴です。皆、思い思いの手本を選び、やりやすい書き方をし、好きな色やペンを使って沢山の仏様を描きました。

集中して仏画を描く、口で言うと敷居が高く感じるかもしれませんがやり方によっては『写経』よりも身近かもしれません。

『ロングのり巻き作り』では、力をあわせて“14.4m”の『ロングのり巻き』が出来ました。味も最高でしたよ。

他にも、竹箸作りや竹馬、長縄飛びなどの伝承遊びや肝試し、朝の勤行など盛りだくさんの2日間となりました。

また、今回は花北青雲高校3年生6名、石鳥谷中学校3年生2名がボランティアとして参加してくれました。天気も良く、子供たちの自由時間も比較的多かった為、ボランティアさんにとってはだいぶ大変な経験だったかもしれませんね。子供達の体力は無尽蔵ですから…(^;)

来年も同時期に開催予定です。是非、ご参加下さい。  
ボランティアも大歓迎です!!



↑ 竹箸作り



↑ 竹馬



↑ ロングのり巻き



↑ 写仏風景



↑ 写仏、完成!!!



↑ 朝の勤行



↑ のり巻き、いただきま〜す



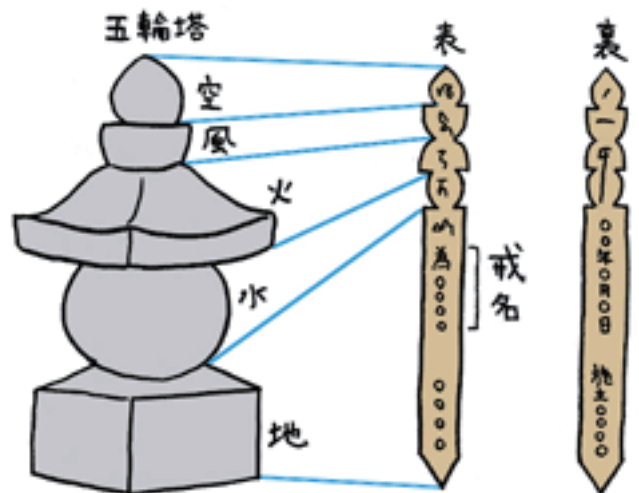
↑ ロングのり巻き  
(14.4m)

## Q. 塔婆について教えてください。

A. 塔婆は卒塔婆(そとうば)を略した言葉です。一般的には“追善供養のために経文や戒名などを書き、お墓の後ろに立てる塔の形をした縦長の木片のこと”を言います。なお、言葉の起源は、古代インドのサンスクリット語の「スツーパー」という言葉を、漢語(中国語)で音写したものです。「スツーパー」は“お釈迦さまの遺骨を納めた塔”(=仏塔)のことを意味します。

お釈迦さまが入滅すると、遺骨が8つに分けられ、8つの国に遺骨を安置するための仏塔(スツーパー)が建てられました。後に、お釈迦さまだけではなく、その弟子である高僧も仏塔(スツーパー)を建てるようになりました。もともとお椀を伏せたような形をしていましたが、仏教が中国・朝鮮半島を経由して日本に渡るまで、時代とともに色々な形に変化しています。ちなみに日本のお寺でよく見ることのできる五重塔や五輪塔も元をたどれば仏塔(スツーパー)です。

お墓に立てる木片の卒塔婆の形状も、五輪塔のかたちかともになっており、仏教の宇宙観である五大が表現されています。(下から順に:「地(四角)」、「水(円)」、「火(三角)」、「風(半円)」、「空(宝珠形)」) 仏教ではこれら「地・水・火・風・空」の5つの要素が、この世界を構成していると説かれており、人間もこの5つの要素によって、“生かされている”と考えられています。



卒塔婆は木製なので、時間とともに腐食していきます。長期間そのまま放置していると虫の巣になってしまったり、墓所が汚れる原因にもなります。年回法要を行ったりして新たに塔婆を受け取ったら古い塔婆は光林寺墓地にある塔婆小屋へお持ち下さい。

## 秋季開山忌のご案内

お知らせ

- ◎日時 平成27年11月23日(月・祝日)  
 午前10時00分 御詠歌  
 午前11時00分 開山忌法要(法要終了後、ご法話)

※ 秋季開山忌の塔前(当番地区)は  
中寺林(愛郷・館前・清明) 地区 です。

ご協力の程、よろしくお願い致します。